

動物専用の超音波診断装置 Aplio flex V が、  
画像診断の新たな世界を提案します。



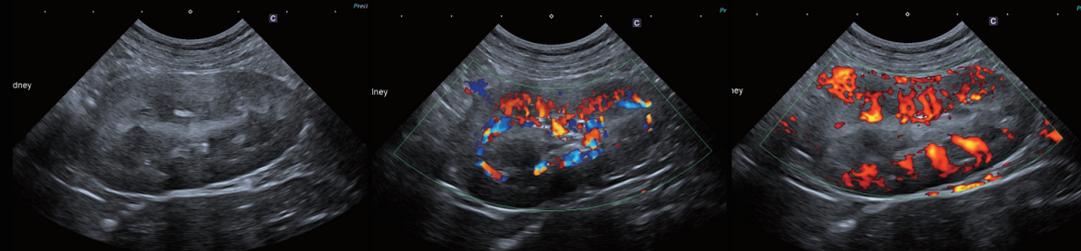
[腹部]



犬・肝臓

犬・胆嚢

犬・十二指腸



犬・腎臓

犬・腎臓 [CDI]

犬・腎臓 [PD]

[心臓]



犬・四腔断面

犬・乳頭筋

犬・肺動脈

Aplioシリーズならではの  
動物専用プローブをラインナップ

PVU-712BTE  
高周波コンベックスプローブ



動物用コンベックス式電子スキャンプローブ  
11MC3 PVU-712BTE  
5動案第590号

PVU-382BT  
マイクロコンベックスプローブ



動物用コンベックス式電子スキャンプローブ  
6MC1 PVU-382BT  
5動案第589号

PSU-50BT  
高周波セクタプローブ



動物用セクタ式電子スキャンプローブ  
6S3 PSU-50BT  
5動案第594号

## Specifications Aplio flex V

### 標準構成

超音波診断装置本体	1
液晶モニタ (21.5インチ)	1
Differential THI	1
ApliPure	1
Precision Imaging	1
Advanced Dynamic Flow	1
Wireless LANキット	1

### 推奨オプション品

CWユニット	UHFL-CW
参照信号ユニット	UHFL-REFSG
参考信号用ケーブル リード線	BR-903FT
パームコントローラーキット	UHCO-PT003A
Precision Plus キット	USFL-PRECP
DICOM キット	USCO-DICOM
Protocol Assisitantキット	USPA-AI900A
動物用コンベックス式電子スキャンプローブ	11MC3 PVU-712BTE
動物用セクタ式電子スキャンプローブ	6S3 PSU-50BT
動物用コンベックス式電子スキャンプローブ	6MC1 PVU-382BT
デジタル白黒プリンタ (DC,有線/無線対応)	UP-D898DC/WO
周辺機器搭載キット (DC 白黒プリンタ搭載用)	UHFL-PERMDC
ゲルウォーマ	UZGW-008A
左プローブホルダーキット	UHFL-THOLD

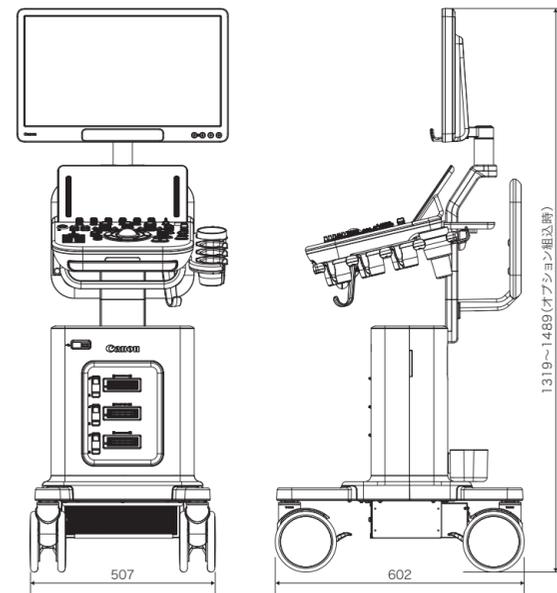
【一般名称】超音波画像診断装置  
【販売名】動物用超音波診断装置 Aplio flex V CUS-AFL00V  
【届出番号】5動案第592号  
【製造販売元】キヤノンメドテックサプライ株式会社

- ApliPureはキヤノンメディカルシステムズ株式会社の商標です。
- 写真とモニタ上に表示している画像はイメージです。実際の使用状況と異なる場合があります。
- 改良のため、仕様・外観の一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

キヤノンメドテックサプライ株式会社

<https://mts.medical.canon>

本社 〒211-0067 神奈川県川崎市中原区今井上町9番1号 TEL.044-739-6779  
© CANON MEDTECH SUPPLY CORPORATION 2023



消費電力 700VA  
電源定格 AC100V±10%  
質量 50kg (オプション含まず)

単位:mm

お問い合わせ

NBC2023111501

Canon

Veterinary Ultrasound

# Aplio flex V



小さな体の大切な命のために、  
もっと見やすく、もっと使いやすい装置を。  
すべては先生方の声から生まれた  
画像技術を搭載しました。



## 新開発マイクロコンベックスプローブを装備。

### 新開発高周波コンベックスプローブ PVU-712BTE

- 表在近くから深部まで描出可能
- 視野角100°を実現、高周波数/広帯域対応



## Technology

画像診断装置は画質、アプリケーション、操作性、全てが重要。

しかし、すべてを満たす装置は装置本体が大きく、重いため、限られたスペースを圧迫する……。  
これらは今までトレードオフの関係にありましたがそんな悩みを解決する一助となる  
『Aplio flex V』の登場です。

### Image Technology

#### ■ Differential THI

2つの周波数を合成して送信することで、広帯域のハーモニック成分を画像化します。  
浅部から深部まで感度のよい画像を描出します。



#### ■ Precision Imaging

近接する超音波ライン信号を高速処理し、実質組織を均一かつ構造の境界を強調することで組織の視認性を高めます。



#### ■ Protocol Assistant (\*)

検査手順をモニター上で確認、Picture in Pictureで検査部位ごとに参照画像を確認しながら、検査を進めることができます。



#### ■ Wide View

表示視野角を広げて観察可能なWide Viewに対応しています。例えばコンベックスプローブ使用時には約100°の視野角で観察することが可能です。



#### ■ Advanced Dynamic Flow

通常のカラードプラと比べて繊細で高フレームレートに血流などの情報を表示することが可能です。



## Ergonomics

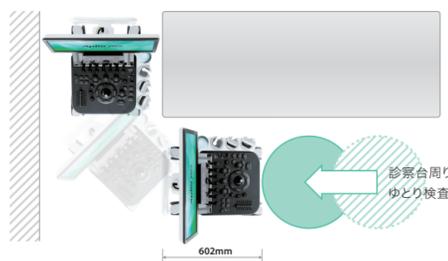
コンパクトエコーのスタンダードをよりコンパクトに、よりスタイリッシュに。  
すべては超音波検査を受診する小さな命のために。

### Round Form & Compact Body 採用

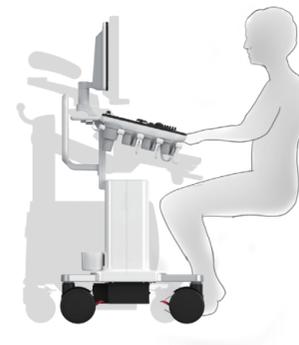
操作パネルの背面や本体の角を柔らかい形状にすることでやさしく洗練された印象を持たせました。



多くの診察台の幅が600mm。診察台の頭側に設置してもすっきりと収まります。重量は50kg(オプション含まず)なので軽力で引き出せます。



直線を基調としたシンプルなデザイン、基板、ハードディスクの省スペース化、ケーブルレス化を採用、装置全体のスリム化に成功。従来装置(Xario100V)と比較して、足元スペースでは36%、床専有面積を0.258㎡を実現。診察室の有効スペースを広くとることが可能



### Ergonomics

ボタンの配置や押しやすさ、清掃性まで考え抜き、各検査に対応する快適な操作性を実現しました。



上位機種(Aplio a)に採用しているタッチパネル操作を採用。ワンタッチで必要な操作を選択可能

CDI(カラードプラインメイキング)、PW(パルスドプラ)、CW(連続波ドプラ)などの、モードスイッチは独立設計

距離計測や最適化ボタン、ボディマークなど多用するボタンはトラックボールを中心に配置。ボタン設定もお好みに応じて変更が可能

Depth / Zoomボタンを別々に配置し、自由度の高い操作性を向上



# Aplio flex V

(\*) オプション